

高機動無人航空機開発プロジェクト

高機ドローン

■ プロジェクトの背景と目的

近年、飛行型ドローンが手軽に制作や購入できるような環境が整ってきており、ドローン業界の規模自体も拡大しており技術も多岐にわたるようになってきています。応用分野も広がっており、農業や物流、災害対応などでの活用が注目されています。ドローンには大きく分けて産業用のドローンとレース用のドローンがあります。本プロジェクトでは、主に空撮ドローンとレース用ドローンの機体作製をしており、その活動の中でドローンレースの大会出場やドローンの飛行訓練を通して使用している技術、及び関係する法律について学習することを目的としています。

■ 本年度の主な活動内容

1. こどもでじま博

出島メッセ長崎で催されるこどもでじま博にて、ドローンに初めて触れる小学生以下の方を中心にドローンの基本操作や仕組みを知る機会として体験してもらいました。

2. 附属高校のオープンスクール

高大連携のオープンスクールにてトイドローンの操縦体験やWiiのジョイコンを使用した操縦体験、FPV（First Person View 一人称視点）シミュレーション操縦体験、実際に飛行しているレース用機体のFPV映像を用いてドローンから見える景色や機体の動作を体験してもらいました。

3. 造大祭

大学で開催される造大祭にて、学びのきっかけとして実際にトイドローン操縦体験を行うほか、風船を割って競い合うドローンファイトを体験することで、ドローン技術を身近に感じてもらいました。

4. 長崎工業高校への出張授業

長崎工業高校では、電気電子科の生徒にドローンの法律や技術について学んでもらい、ドローンの操縦がどのようなものなのか実際に飛行体験してもらいました。

(2025/02/21 中村 亜紗)



シミュレーション体験



ドローンファイト体験



高機動無人航空機プロジェクト
活動投稿サイト